

令和5（2023）年度

公立小松大学大学院サステイナブルシステム科学研究科
（修士課程）

学生募集要項

一 般 選 抜
社 会 人 特 別 選 抜
外国人留学生特別選抜



公立小松大学大学院

令和5（2023）年度入学者選抜試験日程（修士課程）

生産システム科学専攻

区 分			出願期間	試験日	合格発表	入学手続期間
第 1 期 募 集	一般選抜 ※ 1	第 1 試験	令和 4 (2022) 年 6 月 20 日 (月) ～ 6 月 24 日 (金)	令和 4 (2022) 年 7 月 9 日 (土)	令和 4 (2022) 年 7 月 22 日 (金)	令和 5 (2023) 年 2 月 24 日 (金) ～ 3 月 3 日 (金)
		第 2 試験		令和 4 (2022) 年 8 月 29 日 (月)	令和 4 (2022) 年 9 月 9 日 (金)	
	社会人特別選抜			令和 4 (2022) 年 8 月 27 日 (土)		
	外国人留学生特別選抜 ※ 2		随時	随時	随時	随時

ヘルスケアシステム科学専攻

区 分		出願期間	試験日	合格発表	入学手続期間
第1期募集	一般選抜	令和4（2022）年 8月5日（金） ～ 8月12日（金）	令和4（2022）年 8月27日（土）	令和4（2022）年 9月9日（金）	令和5（2023）年 2月24日（金） ～ 3月3日（金）
	社会人特別選抜				
	外国人留学生特別選抜				
第2期募集	一般選抜	令和5（2023）年 3月1日（水） ～ 3月7日（火）	令和5（2023）年 3月14日（火）	令和5（2023）年 3月20日（月）	令和5（2023）年 3月20日（月） ～ 3月24日（金）
	社会人特別選抜				
	外国人留学生特別選抜				

グローバル文化学専攻

区 分		出願期間	試験日	合格発表	入学手続期間
第1期募集	一般選抜	令和4（2022）年 7月11日（月） ～ 7月15日（金）	令和4（2022）年 8月6日（土）	令和4（2022）年 8月26日（金）	令和5（2023）年 2月24日（金） ～ 3月3日（金）
	社会人特別選抜				
	外国人留学生特別選抜				
第2期募集	一般選抜	令和5（2023）年 1月30日（月） ～ 2月3日（金）	令和5（2023）年 2月18日（土）	令和5（2023）年 3月3日（金）	令和5（2023）年 3月3日（金） ～ 3月10日（金）
	社会人特別選抜				
	外国人留学生特別選抜				

※1 一般選抜（第1試験・第2試験）については本要項9ページ「7. 選抜方法」を参照してください。

※2 令和4（2022）年12月までに出了した場合に令和5（2023）年4月入学者選抜試験として、令和5（2023）年1月～6月に出願した場合は令和5（2023）年10月入学者選抜試験として実施します。

注1 出願資格によっては、出願期間前に出願資格審査が必要な場合があります。審査に必要な書類の提出期間は、上記の出願期間より期日を早く定めております。詳細については、本要項3ページ「3. 出願資格」、本要項4ページ「4. 出願資格事前審査」を参照してください。

2 出願条件によっては、出願期間前に志望する専攻長に申し出る必要があります。詳細については、本要項9ページ「7. 選抜方法」にある各選抜の出願条件を参照してください。

3 試験日及び試験科目等の詳細については、本要項15ページ「8. 試験日時等」を参照してください。

4 出願する入学者選抜に関するすべての事項は、必ず志願者本人の責任で確認してください。

5 新型コロナウイルス感染症の影響により、本要項に記載している内容を変更する場合があります。

その場合は本学ホームページにてお知らせします。

目 次

1. 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	1
2. 募集人員	3
3. 出願資格	3
4. 出願資格事前審査	4
5. 出願期間	5
6. 出願手続	6
7. 選抜方法	9
8. 試験日時等	15
9. 受験票の発送	16
10. 合格者発表	17
11. 入学手続	17
12. 入学時に必要な経費	17
13. 授業料等の納入	18
14. 受験及び修学上特別な配慮を必要とする者の事前相談	18
15. 個人情報の保護	20
16. 専攻長への事前連絡	21
17. 研究分野・担当教員名簿	21
18. 試験場所在地略図	23
19. お問い合わせ	24

1. 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

サステイナブルシステム科学研究科

以下の資質を有する者を求める。

- 本学の学士課程が有する生産システム科学、保健医療、国際文化交流の各学部およびこれに相当する高等教育機関において基礎的な知識と技能を学修し、専門基礎に関する実習を終えた人。
- 地域と世界の持続可能性への高い志を有し、持続可能な社会実現のために、既存のアカデミズムの枠組みにとらわれず、活用可能なアイデアを現場と連携して創出することに強い興味と意欲を持つ者。他分野にも関心をもち、人類全体と身近な生活圏の持続可能性に係る課題発見・解決への粘り強い意欲を示す人。
- 個々の専門性を深めるなかで、国内外の研究者に対して共鳴力と協調性をもってコミュニケーションでき、生命の尊厳と人間性を重んじる倫理観をもって課題に向き合う人。

【生産システム科学専攻】

ものづくりの分野において、工学に関する高度な専門性を活用して持続可能な生産プロセスを実現し、地域の産業界に貢献できる人材を養成することを目的としている。このような観点から、つぎのような能力・資質を有する入学者を求める。

- ものづくりの基本である機械工学の基盤となる種々の力学に関する学問分野についての基礎知識を身につけている人。
- 持続可能な生産プロセス実現のため、情報工学、電気電子工学の活用に意欲的な人。
- 自らの専門に留まらず、他分野の専門家と積極的に連携し、持続可能性のための課題解決に取り組む意欲と行動力を有する人。
- 地域の産業界と積極的に関わり、地域産業の発展のために活躍する意欲を有する人。

【ヘルスケアシステム科学専攻】

地域に根ざしたヘルスケアの体系的な構築や医療機器の開発を通して、持続可能なコミュニティづくりに貢献できる人材を養成することを目的としている。このような観点から、つぎのような能力・資質を有する入学者を求める。

- 本学保健医療学部が授与している学位（看護学、臨床工学）を有する者及び、それと同程度の学力を有する人。
- 持続可能なヘルスケアを体系的に構築するための発想力、共鳴力、積極性、実行力、協調性を備えた人。
- 人々の健康と幸福に寄与するための高い志をもち、キャリアパスとして高度保健医療専門職業人・研究者、あるいは教育者としての未来像を明確に描いている人。

【グローバル文化学専攻】

サステイナブルな社会を人文科学的・社会科学的視座から達成するために、先見のかつ総合的な道筋を提案し、国際・地域課題の解決に取り組む人材を養成することを目的としている。このような観点から、つぎのような能力・資質を有する入学者を求める。

- 高等教育機関において基礎的な知識と技能を学修し、専門基礎に関する知識を有する人。
- 言語文化学・政治経済学・観光学の専門性を深めるなかで、豊かな創造性と歴史感覚を働かせるとともに、既存のアカデミズムの枠組みにとらわれない、先見のかつ総合的な道筋を提案できる人。
- 南加賀および北陸と国際社会の持続可能性に関する諸課題を発見し、解決に必要な能力と技術を備え、自国の文化に誇りを持ち、地域社会の文化的多様性を探求する力を養いたい人。

2. 募集人員

専攻名	募集人員 (全ての選抜区分の募集人数の合計)
生産システム科学専攻	15 人
ヘルスケアシステム科学専攻	3 人 [第1期募集2人程度、第2期募集1人程度]
グローバル文化学専攻	3 人 [第1期募集2人程度、第2期募集1人程度]
合 計	21 人

3. 出願資格

各選抜の出願資格は、以下の各号のいずれかに該当する者としてします。

なお、出願資格以外にも、個別の出願条件が設定されている選抜もあります。出願条件の詳細は、各選抜の該当ページを参照してください。

- ① 学校教育法(昭和22年法律第26号)第83条に定める大学を卒業した者及び令和5(2023)年3月31日までに卒業する見込みの者
- ② 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者及び令和5(2023)年3月31日までに学士の学位を授与される見込みの者
- ③ 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び令和5(2023)年3月31日までに修了する見込みの者
- ④ 我が国において、外国の大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定する当該課程を修了した者及び令和5(2023)年3月31日までに修了する見込みの者
- ⑤ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和5(2023)年3月31日までに修了する見込みの者
- ⑥ 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が三年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって文部科学大臣の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和5(2023)年3月31日までに授与される見込みの者
- ⑦ 文部科学大臣の指定した者

- ⑧ 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)を修了した者及び令和5(2023)年3月31日までに修了する見込みの者
- ⑨ 学校教育法第102条第2項の規定により本研究科以外の大学院に入学した者であって、当該者を本研究科が大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- ⑩ 令和5(2023)年3月31日までに学校教育法第83条に定める大学に3年以上在学した者及び令和5(2023)年3月31日までに在学見込みの者、外国において学校教育における15年の課程を修了した者及び令和5(2023)年3月31日までに修了する見込みの者、我が国において、外国の大学における15年の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定する当該課程を修了した者及び令和5(2023)年3月31日までに修了する見込みの者、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者及び令和5(2023)年3月31日までに修了する見込みの者であって、本研究科が所定の単位を優れた成績をもって修得したと認めたもの
- ⑪ 本研究科が個別の入学資格審査により、出願資格①に定める者と同等以上の学力があると認めた者で、令和5(2023)年3月31日までに22歳に達するもの

4. 出願資格事前審査

「3. 出願資格」の⑥、⑨、⑩、⑪により出願しようとする者は、出願期間前に出願資格審査を行う必要があります。(2)提出書類(ア～キ)は、郵送(書留速達、レターパック、EMSに限る。)とし、提出期間最終日までに必着とします。ただし、提出期間を過ぎて到着した提出書類でも、提出期間最終日前日までの消印のある書留速達の郵便物(EMSは除く。)は有効とします。

※ 本学窓口では受理しません。

【提出先】 公立小松大学 学生課 大学院担当

〒923-8511 石川県小松市四丁町ヌ1番地3

(1) 提出期間及び審査結果通知の時期

専攻名	事項	第1期募集	第2期募集
		一般選抜 社会人特別選抜 外国人留学生特別選抜	一般選抜 社会人特別選抜 外国人留学生特別選抜
生産システム科学専攻	提出期間	令和4(2022)年 6月1日(水)～6月6日(月)	—
	審査結果の通知	令和4(2022)年 6月中旬	—
ヘルスケアシステム 科学専攻	提出期間	令和4(2022)年 7月15日(金)～7月22日(金)	令和5(2023)年 1月30日(月)～2月3日(金)
	審査結果の通知	令和4(2022)年 8月上旬	令和5(2023)年 2月下旬

グローバル文化学専攻	提出期間	令和 4 (2022) 年 6 月 20 日 (月) ～ 6 月 24 日 (金)	令和 5 (2023) 年 1 月 10 日 (火) ～ 1 月 13 日 (金)
	審査結果の通知	令和 4 (2022) 年 7 月上旬	令和 5 (2023) 年 1 月下旬

注 1 生産システム科学専攻の外国人留学生特別選抜については、随時受け付けます。

7～12 月に出願した者は 4 月入学になります。

1～6 月に出願した者は 10 月入学になります。

2 提出書類を郵送する際、封筒の表に「サステイナブルシステム科学研究科（修士課程）出願資格事前審査申請書在中」と朱書きしてください。

3 審査の結果は、志願者に郵便により通知します。

（2）提出書類

ア 出願資格事前審査申請書（本研究科所定用紙）

イ 最終学校の卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込証明書

ウ 最終学校の成績証明書

エ 最終学校の教育課程表及びシラバス又はこれに相当するものの写し

オ 研究業績調書（本研究科所定用紙）

カ 実務経験や研究活動の内容を表す書面（様式随意、著書・論文・推薦書等）

キ 返信用封筒（審査結果通知用）〔長 3 封筒に受信場所・氏名を明記し、354 円分（速達料金含む。）の切手を貼付してください。〕

注 外国の学校及び機関等の証明書等（上記イ、ウ、エ、カに相当）には、その和訳若しくは英訳及び説明書を添付してください。

5. 出願期間

専攻名	出願期間	
	第 1 期募集	第 2 期募集
	一般選抜 社会人特別選抜 外国人留学生特別選抜	一般選抜 社会人特別選抜 外国人留学生特別選抜
生産システム科学専攻	令和 4 (2022) 年 6 月 20 日 (月) ～ 6 月 24 日 (金)	—
ヘルスケアシステム科学専攻	令和 4 (2022) 年 8 月 5 日 (金) ～ 8 月 12 日 (金)	令和 5 (2023) 年 3 月 1 日 (水) ～ 3 月 7 日 (火)
グローバル文化学専攻	令和 4 (2022) 年 7 月 11 日 (月) ～ 7 月 15 日 (金)	令和 5 (2023) 年 1 月 30 日 (月) ～ 2 月 3 日 (金)

注 1 生産システム科学専攻の外国人留学生特別選抜については、随時受け付けます。

7～12 月に出願した者は 4 月入学になります。

1～6 月に出願した者は 10 月入学になります。

2 出願書類は郵送（書留速達、レターパック、EMS に限る。）とし、出願期間最終日までに必着

とします。ただし、出願期間を過ぎて到着した出願書類でも、出願期間最終日前日までの消印のある書留速達の郵便物（EMS は除く。）は有効とします。

6. 出願手続

＜提出が必要な書類一覧＞

○は提出が必要な書類、◎は該当者のみ提出が必要な書類を示します。

専攻名	選抜区分	提出書類					
		・入学志願票 ・写真票 ・受験票 ・入学検定料振込金証明書 ・受験票送付用封筒 ・卒業（見込）証明書 ・学業成績証明書	学士論文の写し又はこれに準ずるもの	研究計画書	在留カードの写し及びパスポートの写し	戸籍抄本	英語外部試験の成績証明書 ※選抜試験日に持参
生産システム科学専攻	一般選抜	○	—	—	◎外国人の志願者	◎	○
	社会人特別選抜	○	—	—	願者	◎	—
	外国人留学生特別選抜	○	○	○	○	◎	—
ヘルスケアシステム科学専攻	一般選抜	○	○	○	◎外国人の志願者	◎	—
	社会人特別選抜	○	—	—	願者	◎	—
	外国人留学生特別選抜	○	○	○	○	◎	—
グローバル文化学専攻	一般選抜	○	○	○	◎外国人の志願者	◎	—
	社会人特別選抜	○	—	—	願者	◎	—
	外国人留学生特別選抜	○	○	○	○	◎	—

（1）出願方法

志願者は、出願書類を、一括して本要項に添付の角 2 封筒に入れ、出願期間内に下記の提出先へ書留速達郵便、レターパック、又は EMS で郵送してください。

※ 本学窓口では受理しません。

【提出先】 公立小松大学 学生課大学院担当

〒923-8511 石川県小松市四丁町ヌ 1 番地 3

なお、郵送された出願書類について、本学への到着の確認の問い合わせには応じません。日本郵便ウェブサイトの「郵便追跡サービス」により志願者本人が、確認してください。

出願書類に不備がある場合は、受理しないことがあります。

出願書類受理後はいかなる理由があっても書類の返却、記載事項の変更には応じません。出願書類に虚偽の記載があった場合は入学許可を取り消すことがあります。

出願書類等を手書きする場合は、消せないボールペンを使用してください。

(2) 出願書類等

①専攻共通書類

書 類	説明事項
入学志願票	添付の本研究科所定の様式を使用し、志願者本人が記入してください。
写真票	添付の写真票の所定欄に、写真（無帽上半身正面、出願期間前3か月以内に撮影したもの、縦4cm×横3cm、カラー・白黒いずれも可、裏面に志望専攻名及び氏名を明記）を貼り付けてください。
受験票	添付の本学所定の様式を使用してください。
入学検定料振込金 証明書	入学検定料振込後、「振込金証明書（提出用）」に取扱金融機関の領収印が押印されていることを確認し、入学志願票の所定の欄に貼付してください。 「領収書（本人控）」は大切に保管してください。 納入方法は本要項8ページの「(3) 入学検定料の支払い」を参照してください。
受験票送付用封筒	添付の長3封筒に確実に届く住所を記入し、354円分（速達料金含む。）の切手を貼ってください。
卒業（見込）証明書	本研究科への出願資格を満たす大学の卒業（見込）証明書を提出してください。 外国の大学の場合は、大学が発行する英語又は日本語による卒業（見込）証明書を提出してください。 大学改革支援・学位授与機構で出願資格を得る者は、学位授与証明書（学位授与申請受理証明書）等学位取得に係る証明書をすべて提出してください。
学業成績証明書	本研究科への出願資格を満たす大学の学業成績証明書（評価が確定している成績のみ）を提出してください。 外国の大学の場合は、大学が発行する英語又は日本語による成績証明書を提出してください。 大学に編入学した者は、短期大学又は高等専門学校等の編入学の直前に所属していた学校の成績証明書も合わせて提出してください。

②専攻・選抜ごとに必要な書類

下記の専攻・選抜については①専攻共通書類に加え、表に記載の書類が必要です。

ア 生産システム科学専攻（一般選抜）

書 類	説明事項
英語外部試験の成績証明書	試験当日に提出してください。スコアについては、本要項10ページの「利用できる英語外部試験について」を参照してください。

イ 生産システム科学専攻（外国人留学生特別選抜）

ヘルスケアシステム科学専攻（一般選抜、外国人留学生特別選抜）

グローバル文化学専攻（一般選抜、外国人留学生特別選抜）

書 類	説明事項
学士論文の写し又はこれに準ずるもの	学士論文の写し又はこれに準ずるものを提出してください。（※学士論文に準ずるものとは、別紙様式1「学士論文の概要」とする。） 【注意事項】 日本語又は英語以外の言語による論文の場合は、日本語又は英語の要約も提出してください。
研究計画書	本研究科所定の用紙（別紙様式2「研究計画書」）に、入学後の希望研究テーマと、今後の研究計画を記述してください。

上表に記載の、様式1「学士論文の概要」、様式2「研究計画書」は、本学ホームページに掲載の様式（電子データ）で作成して、A4判の用紙に印刷の上、提出することも可能です。

③以下の書類は、該当者のみ提出してください。

書 類	説明事項
在留カードの写し パスポートの写し	日本に在留している外国人は、在留カード（表・裏）の写し及びパスポート（国籍、氏名、性別、生年月日が記載されたページ）の写しを提出してください。 日本に在留していない外国人は、パスポートの写しのみを提出してください。 ※ 出願書類には、上記の証明書等に記載された氏名を使用してください。
戸籍抄本	改姓等の理由で成績証明書等の記載事項が出願時と異なっている場合は、1部提出してください。

（3）入学検定料の支払い

入学検定料 30,000 円

本要項に添付の振込依頼書に必要事項を記入の上、「電信扱」が利用できる金融機関（銀行、信用金庫、信用組合、農協、漁協）の窓口からお振込みください。振込手数料は、志願者負担となります。

金融機関は土・日・祝日は休業となりますので、注意してください。また、ゆうちょ銀行・郵便局、またはATM（現金自動預払機）、携帯電話、およびパソコン等からの振込は受け付けません。

【入学検定料の返還について】

出願書類受理後は、原則として入学検定料の返還には応じません。ただし、入学検定料の振込後、出願を取り止めた場合は返還手続きを行うことができますので、第1期募集は令和4年9月30日（金）、第2期募集は令和5年3月10日（金）までに本要項24ページの「19. お問い合わせ」に連絡してください。なお、返還手続きの際は「領収書（本人控）」及び「振込金証明書（提出用）」が必要になります。

7. 選抜方法

入学者の選抜は、学力試験、筆記試験、口述試験、研究計画書及び出身大学の成績等を総合して判定します。

専攻ごとの選抜方法は以下の通りです。

I. 一般選抜

《生産システム科学専攻》

生産システム科学専攻の一般選抜は、第1試験と第2試験からなります。

第1試験は、下記の「1. 第1試験の受験条件」を満たす者に対して「2. 選抜方法」の「学力試験」を免除し、「口述試験と英語外部試験」により評価します。第2試験は、本要項3ページ「3. 出願資格」に該当する者に対して「学力試験、口述試験、英語外部試験」により評価します。

また、第1試験に合格しなかった場合は引き続き第2試験を受験することになります。

なお、一般選抜の受験の流れについては、本要項に添付の「令和5（2023）年度 生産システム科学専攻一般選抜（第1試験・第2試験）について」を参考にしてください。

1. 第1試験の受験条件

下記の(1)又は(2)の者で、(3)、(4)及び(5)の要件を満たす者が受験できます。

志願者は、出願期間前までに必ず専攻長に申し出てください（連絡先は本要項21ページ参照）。

- (1) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第83条に定める大学を令和5年3月31日までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により令和5年3月31日までに学士の学位を授与される見込みの者
- (3) 所属学科において学業成績が優秀^(※1)かつ人物の優れた者。

※1 学科内での成績順位がおおむね上位1/3以内、または4を最高点とした5段階評価から算出されたGPAが原則2.5以上。（GPAは提出された学業成績証明書に基づき公立小松大学履修規程に定める方法に準じて算出。）

- (4) 合格した場合、入学を確約できる者(所定の期日までに入学確約書の提出が必要)
- (5) 出願期間前にメールで専攻長へ下記事項を連絡し、第1試験受験の許可を得た者。

(様式は任意、連絡先は本要項21ページ参照)

①氏名

②所属大学・学部・学科

③卒業研究の題目

④入学後に指導を希望する教員

⑤成績順位、4を最高点として算出されたGPAまたは3を最高点として算出されたGPA

⑥連絡先の電話番号

2. 第2試験の受験者

- ・専攻長から第1試験受験が許可されなかった者（専攻長に申込しなかった者を含む。）
- ・第1試験に合格しなかった者

3. 選抜方法

試験科目	内 容
学力試験	専門科目の応用力を、以下の分野・科目に関する口頭試問によって審査する。 志願者は、A分野（材料力学、振動工学）、B分野（熱力学、流れ学）、C分野（アルゴリズム論、人工知能）、D分野（プログラミング、電気回路）のうち2つの分野を選択し、その2つからそれぞれ1科目を選択する。
口述試験	専門基礎学力※ ¹ 、勉学意欲と研究に取り組む姿勢を問う。
英語外部試験※ ²	TOEIC 又は TOEFL のスコアを評価する。

※1 第2試験では、口述試験に含まれません。

※2 選抜試験当日にスコアを必ず持参し提示してください。提示されたオリジナルのスコアは、確認後に返却します。なお、出願時の提出は不要です。

◆利用できる英語外部試験について

英語外部試験	摘 要	説明事項
TOEIC	・ TOEIC L&R のみ可。 （公立小松大学で実施した TOEIC-IP は可） TOEIC S&W、TOEIC Bridge は不可。	・ スコアは公式の成績証明書のオリジナル（郵送されたスコア）を提示してください。（コピーまたはインターネット上のスコアの確認等を印刷したものは認めません。 ・ スコアに顔写真が掲載されていないものは不可とします。 ・ 本研究科の選抜試験日から過去2年以内に受けた試験のスコアが使用できます。 ・ タイプの異なる複数の試験のスコアの提出も可能です。
TOEFL	・ TOEFL-iBT (HomeEdition を含む。) TOEFL ITP は不可。 ・ TestData スコアを利用します。MyBest スコアは利用しません。	

注1 第1試験の可否の結果は、令和4年7月22日(金)に受験者に発送します。

2 第1試験の合格者は、一般選抜試験の合格者となります。令和4年7月29日(金)までに「入学確約書」を提出してください。（用紙は第1試験の合格通知の際に送付します。）

3 第1試験の不合格者は、令和4年8月29日(月)に実施される第2試験を受験してください。
なお、第2試験を受験する際、出願書類の再提出及び入学検定料の追加振込は不要です。

《ヘルスケアシステム科学専攻》

書類審査、口述試験、及び専門分野についての学力と当該分野の研究に必要な英語能力を問う試験を課し、能力を総合的に評価する。

試験科目	内 容
書類審査	学士論文の写し又はこれに準ずるもの及び研究計画書を評価する。
筆記試験	専門分野についての学力と当該分野の研究に必要な英語能力を問う。
口述試験	志願者の専門知識や健康と福祉が抱える諸課題の解決に向き合う勉学への意欲を評価する。

《グローバル文化学専攻》

書類審査、口述試験、及び専門分野についての学力と当該分野の研究に必要な外国語能力を問う試験を課し、能力を総合的に評価する。

試験科目	内 容
書類審査	学士論文の写し又はこれに準ずるもの及び研究計画書を評価する。
筆記試験	専門分野についての学力と当該分野の研究に必要な外国語能力を問う。
口述試験	志願者の専門知識や地域が抱える諸課題の解決に向き合う勉学への意欲を評価する。

外国語の種類については、専攻長にお問い合わせください。（連絡先は本要項 21 ページ参照）

Ⅱ. 社会人特別選抜

《生産システム科学専攻》

口述試験、学業成績証明書に基づき、能力を総合的に評価する。

1. 出願条件

入学時に教育研究機関、官公庁、企業等において、通算2年以上の専門的な実務経験を有する者で、本要項3ページ「3. 出願資格」の各号のいずれかに該当する者とします。

なお、志願者は、出願期間前までに必ず専攻長に申し出てください（連絡先は本要項21ページ参照）。

2. 選抜方法

試験科目	内 容
口述試験	社会人としての経験を基にした勉学意欲と研究に取り組む姿勢を問う。

《ヘルスケアシステム科学専攻》

口述試験、学業成績証明書に基づき、能力や資質を総合的に評価する。

1. 出願条件

令和5(2023)年3月31日までに通算3年の職歴を有する者[定時制、夜間、通信制の学校以外の学校（大学を含む。）の在学期間は、社会人としての経験年数に含まない。]で、本要項3ページ「3. 出願資格」の各号のいずれかに該当する者とします。なお、志願者は、出願期間前までに必ず専攻長に申し出てください（連絡先は本要項21ページ参照）。

2. 選抜方法

試験科目	内 容
口述試験	社会人としての経験を基にした勉学意欲と研究に取り組む姿勢を問う。

《グローバル文化学専攻》

口述試験、学業成績証明書に基づき、能力を総合的に評価する。

1. 出願条件

令和5(2023)年3月31日までに通算3年の職歴を有する者[定時制、夜間、通信制の学校以外の学校（大学を含む。）の在学期間は、社会人としての経験年数に含まない。]で、本要項3ページ「3. 出願資格」の各号のいずれかに該当する者とします。なお、志願者は、出願期間前までに必ず専攻長に申し出てください（連絡先は本要項21ページ参照）。

2. 選抜方法

試験科目	内 容
口述試験	志願者の専門知識や地域が抱える諸課題の解決に向き合う意欲と資質を総合的に評価する。

Ⅲ. 外国人留学生特別選抜

《生産システム科学専攻》

書類審査、口述試験、及び専門分野についての学力と当該分野の研究に必要な英語・日本語能力を問う試験を課し、能力を総合的に評価する。

1. 出願条件

日本の国籍を有しない者で、本要項3ページ「3. 出願資格」の各号のいずれかに該当する者となります。なお、本学生産システム科学科を卒業見込み並びに卒業した者については出願できません。志願者は、出願期間前までに必ず専攻長に申し出てください（連絡先は本要項21ページ参照）。

2. 選抜方法

試験科目	内 容
書類審査	学士論文の写し又はこれに準ずるもの及び研究計画書を評価する。
学力試験及び 口述試験	専門分野についての学力と当該分野の研究に必要な英語・日本語能力を問う。 志願者の勉学意欲と研究に取り組む姿勢を問う。

《ヘルスケアシステム科学専攻》

書類審査、口述試験、又は専門分野についての学力と当該分野の研究に必要な英語・日本語能力を問う試験を課し、能力を総合的に評価する。

1. 出願条件

日本の国籍を有しない者で、本要項3ページ「3. 出願資格」の各号のいずれかに該当する者となります。なお、志願者は、出願期間前までに必ず専攻長に申し出てください（連絡先は本要項21ページ参照）。

2. 選抜方法

試験科目	内 容
書類審査	学士論文の写し又はこれに準ずるもの及び研究計画書を評価する。
筆記試験又は 口述試験	専門分野についての学力と当該分野の研究に必要な英語・日本語能力を問う。 志願者の勉学意欲と研究に取り組む姿勢を問う。

《グローバル文化学専攻》

書類審査、口述試験、又は専門分野についての学力と当該分野の研究に必要な外国語・日本語能力を問う試験を課し、能力を総合的に評価する。

1. 出願条件

日本の国籍を有しない者で、本要項3ページ「3. 出願資格」の各号のいずれかに該当する者となります。なお、志願者は、出願期間前までに必ず専攻長に申し出てください（連絡先は本要

項 21 ページ参照)。

2. 選抜方法

試験科目	内 容
書類審査	学士論文の写し又はこれに準ずるもの及び研究計画書を評価する。
筆記試験又は 口述試験	専門分野についての学力と当該分野の研究に必要な外国語・日本語能力を問う。 志願者の勉学意欲と研究に取り組む姿勢を問う。

外国語の種類については、専攻長にお問い合わせください。(連絡先は本要項 21 ページ参照)

8. 試験日時等

(1) 試験日時、試験科目

一般選抜

専攻名	試験日		試験時間	試験科目
生産システム科学専攻	第1期募集	第1試験	令和4(2022)年 7月9日(土)	13:00～ 口述試験
		第2試験	令和4(2022)年 8月29日(月)	9:00～ 学力試験及び 口述試験
ヘルスケアシステム科学専攻	第1期募集		令和4(2022)年 8月27日(土)	9:00～10:00 筆記試験
				10:15～ 口述試験
	第2期募集		令和5(2023)年 3月14日(火)	9:00～10:00 筆記試験
				10:15～ 口述試験
グローバル文化学専攻	第1期募集		令和4(2022)年 8月6日(土)	9:00～10:30 筆記試験
				10:45～ 口述試験
	第2期募集		令和5(2023)年 2月18日(土)	9:00～10:30 筆記試験
				10:45～ 口述試験

社会人特別選抜

専攻名	試験日		試験時間	試験科目
生産システム科学専攻	第1期募集	令和4(2022)年 8月27日(土)	13:00～	口述試験
ヘルスケアシステム科学専攻	第1期募集	令和4(2022)年 8月27日(土)	10:15～	口述試験
	第2期募集	令和5(2023)年 3月14日(火)	10:15～	口述試験
グローバル文化学専攻	第1期募集	令和4(2022)年 8月6日(土)	10:45～	口述試験
	第2期募集	令和5(2023)年 2月18日(土)	10:45～	口述試験

外国人留学生特別選抜

専攻名	試験日		試験時間	試験科目
生産システム科学専攻	第1期募集	随時	随時	学力試験及び口述試験
ヘルスケアシステム科学専攻	第1期募集	令和4(2022)年 8月27日(土)	10:15～	筆記試験又は口述試験
	第2期募集	令和5(2023)年 3月14日(火)	10:15～	筆記試験又は口述試験
グローバル文化学専攻	第1期募集	令和4(2022)年 8月6日(土)	10:45～	筆記試験又は口述試験
	第2期募集	令和5(2023)年 2月18日(土)	10:45～	筆記試験又は口述試験

(2) 試験場

専攻名	試験場
生産システム科学専攻	栗津キャンパス
ヘルスケアシステム科学専攻	末広キャンパス
グローバル文化学専攻	中央キャンパス

9. 受験票の発送

専攻名	発送日	
生産システム科学専攻	第1期募集	令和4(2022)年 7月1日(金)頃
ヘルスケアシステム科学専攻	第1期募集	令和4(2022)年 8月19日(金)頃
	第2期募集	令和5(2023)年 3月9日(木)頃
グローバル文化学専攻	第1期募集	令和4(2022)年 7月22日(金)頃
	第2期募集	令和5(2023)年 2月10日(金)頃

注1 生産システム科学専攻の外国人留学生特別選抜の志願者には、出願(随時)からおおよそ1週間後に発送します。

2 試験当日は、受験票を必ず持参してください。

3 受験番号は、入学手続きにも必要です。それまで「受験票」は大切に保管してください。

10. 合格者発表

専攻名	合格発表日	
	第1期募集	第2期募集
	一般選抜 社会人特別選抜 外国人留学生特別選抜	一般選抜 社会人特別選抜 外国人留学生特別選抜
生産システム科学専攻	令和4(2022)年7月22日(金) (一般選抜第1試験のみ)	—
	令和4(2022)年9月9日(金)	
ヘルスケアシステム科学専攻	令和4(2022)年9月9日(金)	令和5(2023)年3月20日(月)
グローバル文化学専攻	令和4(2022)年8月26日(金)	令和5(2023)年3月3日(金)

合格者の受験番号を本学のホームページにおいて発表するとともに、合格者に合格通知書を送付します。なお、電話による可否の照会には応じません。

公立小松大学ホームページ <https://www.komatsu-u.ac.jp/>

注 生産システム科学専攻の外国人留学生特別選抜の合格者は、試験日(随時)から2週間以内に発表します。

11. 入学手続

入学手続期間及び方法については、第1期募集合格者へは2月下旬、第2期募集合格者へは合格通知時に送付する「大学院入学手続要項」によりお知らせします。

12. 入学時に必要な経費

入学料

市内者 282,000 円

その他 423,000 円

注1 上記の納付金額は予定額であり、入学時に入学料が改定された場合には、改定時から新入学料を適用します。

2 入学料の免除及び減免の制度があります。

3 「市内者」とは、「入学者本人又は保護者※が、入学前年の4月1日以前から引き続き小松市内に住所を有している者」です。

※ 保護者とは、父母または主たる生計維持者です。

13. 授業料等の納入

授業料の納入方法は、本学指定の銀行が、学生等の開設した預金口座から自動的に授業料を口座振替する「預金口座振替」となっています。手続きについては、「大学院入学手続要項」とともに送付する「授業料等の納入について」を確認してください。

授業料（前期分） 292,900 円（授業料年額 585,800 円）

実習費（前期分） 25,000 円（実習費年額 50,000 円）（生産システム科学専攻及びヘルスケアシステム科学専攻）

注1 上記の金額は予定額であり、入学時又は在学中に授業料が改定された場合には、改定時から新授業料が通用されます。

2 授業料については、免除及び減免の制度があります。

3 実習費は、教育研究における研究設備や実験、実習のための経費となります。実習衣、教科書代等は含まれません。

14. 受験及び修学上特別な配慮を必要とする者との事前相談

入学志願者で、心身に障がい等があり、受験及び修学に特別な配慮を必要とする者は、出願期間前に事前相談書を、本要項 24 ページの「19. お問い合わせ」に記載された公立小松大学学生課大学院担当へ提出し、相談してください。

専攻名	事前相談期限日	
	第1期募集	第2期募集
生産システム科学専攻	令和4(2022)年6月13日(月)	—
ヘルスケアシステム科学専攻	令和4(2022)年7月29日(金)	令和5(2023)年2月22日(水)
グローバル文化科学専攻	令和4(2022)年7月4日(月)	令和5(2023)年1月23日(月)

注1 生産システム科学専攻の外国人留学生特別選抜については、随時受け付けます。

2 事前相談書は次ページの様式で提出してください。参考となる書類がある場合は、それらも添付してください。

事前相談書

令和 年 月 日 提出

ふりがな		生年月日	性別
志願者氏名		年 月 日	男・女
現住所	〒		
電話番号	() —		
大学等名	(大学等名)		
	(卒業年次) 年 月 卒業見込・卒業		
志望専攻名	サステイナブルシステム科学研究科 専攻		
募集・選抜区分 ※ 該当する区分に○	・一般選抜 ・社会人特別選抜 ・外国人留学生特別選抜		
障がいの種類、程度			
受験・修学において 配慮を希望する事項			
大学等で 配慮されていた事項			
日常生活の状況			
参考書類 ※ 添付したものに○	・医師の診断書（提出日から3か月以内に発行のもの） ・障がい者手帳の写し ・その他（)		

15. 個人情報の保護

公立小松大学では、独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律及び学内管理規程等に基づき、本学が保有する個人情報の適正な管理と保護に努めています。

本学が入学選抜を通じて取得した個人情報及び入学手続き時に提出する書類に記載されているすべての個人情報は、当該研究科の学生募集要項で明示した利用目的のほか、次の業務でのみ利用します。これら以外の業務に、上記の個人情報を使用することはありません。

- (1) 入学選抜及び入学手続きに関わる業務
- (2) 入学後の学籍管理、修学指導に関わる業務及び健康診断等の健康管理に関わる業務
- (3) 入学後の本学ポータルサイト利用、学内LAN利用、図書館利用及び図書貸出し等の学内サービス業務
- (4) 入学料免除、授業料免除、奨学生選考等の修学支援に関わる業務
- (5) 入学料・授業料の納入に関わる業務及び収納業務を委託する金融機関での必要な業務
- (6) 入学選抜に関する個人が特定できない形で行う調査研究業務
- (7) 在学者及びその家族を対象とする広報に関わる業務及び基金（寄附）に関わる業務
- (8) 修了者に対する学修成果等調査、同窓会及び基金活動への支援、本学を通じた情報サービス・情報提供等に関する業務
- (9) その他、個人が特定できない形で行う統計処理業務

16. 専攻長への事前連絡

以下の選抜区分の志願者は、出願期間前までに、志望する専攻の専攻長に申し出る必要がありますので、注意してください。

- ・一般選抜〔第1試験〕
- ・社会人特別選抜
- ・外国人留学生特別選抜

連絡先

専攻名	氏名	電話番号	メールアドレス
生産システム科学専攻	(専攻長) 教授 岩田 佳雄	0761-48-3136	yoshio.iwata @komatsu-u.ac.jp
ヘルスケアシステム科学専攻	(専攻長代行) 教授 平山 順	0761-48-3207	jun.hirayama @komatsu-u.ac.jp
グローバル文化科学専攻	(専攻長) 教授 岡村 徹	0761-48-3276	toru.okamura @komatsu-u.ac.jp

17. 研究分野・担当教員名簿〔令和5(2023)年4月1日予定〕

(◆) 印のついた教員は主任指導教員として選択することはできません。

※ 指導教員の選択においては、志望する専攻の専攻長にご相談ください。

生産システム科学専攻

研究分野	担当教員	職名	専門分野
エネルギー・安全工学分野	歌野原 陽一	教授	エネルギー工学
	川端 信義	教授	流体力学、安全工学
	篠原 晋	教授	応用物理学、物理学
	高山 純一	教授	土木工学(土木計画学、交通工学、都市計画)
	田村 博志	教授	数理物理学
材料・加工学分野	香川 博之	教授	機械工学、健康・スポーツ科学、人間医工学
	粕谷 素洋	准教授	表面・界面科学、トライボロジー
ダイナミクス・ロボティクス分野	岩田 佳雄	教授	機械力学、制振・防振
	酒井 忍	教授	スポーツ科学、設計工学、材料力学
	史 金星	准教授	設計工学、CAE、計算力学
	足津 正利	准教授	メカトロニクス
電気電子工学分野	山下 幸三	准教授	電気電子工学
	池田 慎治	准教授	電気電子工学、ナノ・マイクロ科学
情報科学分野	上田 芳弘	教授	データ科学、知識共有
	木村 春彦	教授	人間情報学
	梶原 祐輔	准教授	人工知能、人間情報学、人間医工学

ヘルスケアシステム科学専攻

研究分野	担当教員	職名	専門分野
ヘルスケアシステム分野	北岡 和代	教授	看護学、公衆衛生学、心理学
	仲田 浩規	教授	基礎医学
	平山 順	教授	基礎生物学
高齢者包括ケアシステム分野	李 鍾昊	教授	人間情報学、人間医工学、ライフサイエンス
	小泉 由美	教授	看護学、高齢医学
	徳田 真由美	教授	看護学、保健学
	橋本 泰成	教授	人間医工学、人間情報学、脳科学
ヘルスパイオエンジニアリング分野	山岡 禎久	教授	人間医工学
	松井 優子	教授	看護学、保健学、看護理工学
	藤田 一寿	准教授	神経科学、人間情報学、情報科学
生体代行システム分野	山岡 哲二	教授	医用生体工学、生体材料学
	北浦 弘樹	教授	神経科学、基礎医学、外科系臨床医学
	山田 昭博	准教授	人間医工学、電気電子工学、臨床外科学
サステイナブルコミュニティ創造分野	高木 祐介	教授	公衆衛生学、生理学、栄養学
	中田 明恵	教授	看護学、保健学
その他関連分野	盛永 審一郎◆	特任教授	実存倫理学、応用倫理学
	上田 映美◆	助教	看護学、保健学、看護理工学

グローバル文化学専攻

研究分野	担当教員	職名	専門分野
国際観光地域創生分野	杓谷 茂樹	教授	観光人類学、文化人類学
	中子 富貴子	教授	観光学、観光社会学、地域観光
	中村 誠一	教授	考古学、文化資源学、地域研究
	朝倉 由希	准教授	芸術学、地域研究
	木村 誠	准教授	心理学
	清 剛治	准教授	経済学、経営学、地域研究関連
政治経済分野	一ノ渡 忠之	准教授	国際経済学
	千葉 悠志	准教授	地域研究、法学、アジア・アフリカ史
	西島 薫	講師	政治学、地域研究、国際関係論
言語文化分野	岡村 徹	教授	英語学、言語学、英米文学
	小原 文衛	教授	文学
	西村 聡	教授	文学、史学、芸術学
	劉 乃華	教授	中国語教育学
	島内 俊彦	准教授	人間情報学、科学教育・教育工学、言語学、地域研究
	長辻 幸	准教授	言語学
	橋本 貴子	准教授	言語学、文献学

18. 試験場所在地略図

(1) 公立小松大学 粟津キャンパス

【所在地】〒923-8511 石川県小松市四丁町ヌ1番地3

【アクセス】JR 粟津駅から徒歩約12分

【実施専攻】生産システム科学専攻



(2) 公立小松大学 末広キャンパス

【所在地】〒923-0961 石川県小松市向本折町へ14番地1

【アクセス】JR 小松駅から路線バスで「市民病院」下車（所要時間約7分）徒歩約3分、
JR 小松駅から徒歩約23分

【実施専攻】ヘルスケアシステム科学専攻

(3) 公立小松大学 中央キャンパス

【所在地】〒923-0921 石川県小松市土居原町10番地10

【アクセス】JR 小松駅から徒歩約1分

【実施専攻】グローバル文化学専攻



19. お問い合わせ

月曜日から金曜日（祝日を除く。）の午前 9 時から午後 5 時の間に下記までお問い合わせください。

公立小松大学 学生課 大学院担当

〒923-8511 石川県小松市四丁町ヌ 1 番地 3（栗津キャンパス）

電話 : 0761-41-6700 E-mail : daigakuin@komatsu-u.ac.jp

【不測の事態が発生した場合の情報提供について】

不測の事態により試験時間等を変更する場合は、本学ホームページに随時情報を掲載しますので、受験直前は特に注意して確認してください。

公立小松大学ホームページ <https://www.komatsu-u.ac.jp/>